

株主の皆様へ

第48期 報告書

平成23年4月1日～平成24年3月31日



新型立山ロープウェイ

立山黒部貫光株式会社

ごあいさつ



代表取締役社長 佐伯 博

株主の皆様には、日頃より、当社事業に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第48期報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

平成23年度のわが国経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況が続いたものの、後半は復興の動きに合わせ、持ち直しの傾向が見られました。しかし、世界的な経済不安、急激な円高などにより、景気の本格的な回復は、依然不透明な状況で推移しました。

観光業界におきましては、春から夏にかけて、震災の影響によるキャンセルや出控え、訪日旅行の取り止めにより、旅行需要が大きく落ち込みました。

このような状況のなか、当社は、当初予定していた全線開業40周年記念事業計画の一部を見直し、緊急措置や即効性の高い施策を実施して、国内外の誘客に努めましたが、入り込み人員は全線開業以来最低となり、非常に厳しい成績に終わりました。

この結果、大幅な純損失を計上することとなり、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、第48期の期末配当金につきましては、無配とさせていただいた次第です。

24年度におきましては、営業成績を回復させ、経営基盤を立て直して早期の復配に結びつけることが、最優先課題であり、そのため、入り込み人員100万人台の回復を目標として、昨年未より、以下の方針で取り組んでまいりました。

国内においては核となる企画団体を立て直すべく、旅行会社への販促施策の見直しや、セールス活動の強化を、また団体型から個人型への旅行形態の変化を踏まえ、エンドユーザーへの広告宣伝の強化、「Webきっぷ」の拡充など利便性の向上をはかってまいります。

海外は、訪日客の比率を15%に高めるべく、今春の富山ー台北定期便就航を起爆剤として、国や富山県、周辺観光地などと広域連携をはかり、宣伝、セールス活動を強化しております。また訪日の個人旅行への環境整備も順次進めてまいります。

ラムサール条約登録間近な弥陀ヶ原・大日平湿原、立山の氷河認定など世界に誇れる話題も豊富で、立山ロープウェイの新搬器、立山高原バスのハイブリッドバス更新などもあわせて情報発信に努め、誘客に活かしてまいります。

また事業継続の前提となる、安全の確保、自然環境の保全にも、引き続き取り組んでまいります。

これからも佐伯宗義初代社長を始めとする幾多の先人の方々の、アルペンルート創業にかけた理想と理念を受け継ぎ、積極的な誘客促進と、安全かつ満足度の高い受け入れ態勢の構築によって、世界に誇る国際山岳観光地「立山黒部アルペンルート」ブランドの確立に全力を傾注してまいります。

株主の皆様には、引き続きより一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願いを申し上げます。

平成23年度事業概況 (平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

当期の入り込み人員は、富山側38万9千人、大町側43万9千人、合計82万7千人（前年比83%、17万4千人減）となりました。

部門別の営業成績は、次のとおりです。

運輸営業成績表

項目		鋼索鉄道線 (立山ケーブルカー)	前年比 %	自動車線 (立山高原バス等)	前年比 %	無軌条電車線 (立山トンネルトローリーバス)	前年比 %
営業キロ程	キロ	1.3	100	85.6	104	3.7	100
営業日数	日	235	101	343	100	235	100
旅客輸送人員	人	591,873	76	642,204	79	544,223	78
旅客運輸収入	千円	318,434	75	813,353	78	838,566	76
運輸雑収	千円	1,230	56	6,419	85	1,929	83
収益計	千円	319,665	75	819,773	79	840,495	76
車両走行キロ	キロ	26,408	90	604,364	85	85,714	85

項目		普通索道線 (立山ロープウェイ)	前年比 %	鋼索鉄道線 (黒部ケーブルカー)	前年比 %
営業キロ程	キロ	1.7	100	0.8	100
営業日数	日	235	100	235	100
旅客輸送人員	人	575,739	79	589,368	80
旅客運輸収入	千円	530,931	77	361,946	78
運輸雑収	千円	1,583	81	1,088	81
収益計	千円	532,514	77	363,034	78
車両走行キロ	キロ	35,149	89	14,160	97

構内販売その他営業成績表

項目		構内営業	前年比 %	賃貸収入	前年比 %
営業収益	千円	505,217	70	110,000	157

個別財務諸表

貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	当会計年度	前会計年度	科 目	当会計年度	前会計年度
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在		平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	1,108	501	流動負債	1,869	867
現金及び預金	683	292	支払手形	56	22
未収金	124	10	短期借入金	1,290	511
未収法人税等	51	-	未払金	379	121
未収消費税	27	-	未払費用	15	16
商 品	11	14	未払消費税等	-	15
飲 食 材 料 品	3	3	未払法人税等	11	65
貯 蔵 品	96	91	預 り 金	13	5
前 払 金	18	14	賞 与 引 当 金	101	108
前 払 費 用	1	-			
繰延税金資産	76	55			
その他の流動資産	13	17			
固定資産	10,345	10,630	固定負債	2,226	2,257
鋼索索道・無軌条電車事業固定資産	2,939	2,987	長期借入金	1,139	1,181
自動車事業固定資産	209	218	退職給付引当金	1,011	956
付帯事業固定資産	2,272	2,357	役員退職慰労引当金	33	77
各事業関連固定資産	1,972	2,285	環境対策引当金	15	15
その他の固定資産	86	47	資産除去債務	25	25
投資その他の資産	2,865	2,733	負債合計	4,095	3,124
関係会社株式	2,066	2,066	純資産の部		
投資有価証券	81	82	株主資本	6,563	7,269
出 資 金	1	1	資 本 金	4,160	4,160
長期貸付金	10	12	利益剰余金	2,724	3,434
関係会社長期貸付金	98	101	自 己 株 式	△ 321	△ 325
繰延税金資産	247	87	評価・換算差額等	795	738
その他の投資等	384	407	その他有価証券評価差額金	795	738
貸倒引当金	△ 24	△ 25			
			純資産合計	7,358	8,007
資産合計	11,454	11,132	負債・純資産合計	11,454	11,132

資産の部

流動資産は、期末の借入金による現金・預金の増加により、前期末に比べ6億7百万円増加し、11億8百万円となりました。

固定資産は土地・建物の減損処理が3億14百万円あるなど2億85百万円減少し、103億45百万円となりました。

負債の部

流動負債は、短期借入金の増加等により前期末に比べ10億2百万円増加し、18億69百万円となりました。

純資産の部

純資産は、配当の支払による減少と当期純損失の計上により前期末に比べ6億48百万円減少し73億58百万円となりました。

損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	当会計年度	前会計年度
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
鋼索・索道・無軌条事業		
営業収益	2,055	2,687
営業費用	2,304	2,445
営業利益(△は損失)	△249	241
自動車事業		
営業収益	819	1,043
営業費用	980	1,014
営業利益(△は損失)	△161	29
付帯事業		
営業収益	615	796
営業費用	729	880
営業利益(△は損失)	△113	△84
全事業営業利益(△は損失)	△524	186
営業外収益	70	61
営業外費用	41	65
経常利益(△は損失)	△495	182
特別利益	115	—
特別損失	330	92
税引前当期純利益(△は損失)	△710	89
法人税、住民税及び事業税	9	111
法人税等調整額	△122	△51
当期純利益(△は損失)	△597	30

営業損益

当期は、運輸事業、付帯事業とともに収益が前年比77%となり、5億24百万円の損失となりました。

特別損益

特別利益には東京電力からの賠償金受入額70百万円を計上しております。

特別損失には土地・建物の減損損失として3億14百万円を計上しております。

株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算 差額等	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		利益 剰余金 合計	自己株式			株主資本 合計
		その他 資本剰余金	利益 準備金	利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					
当 期 首 残 高	4,160	0	466	2,800	167	3,434	△325	7,269	738	8,007
当 期 変 動 額										
剰余金の配当			11		△123	△112		△112		△112
当期純利益					△597	△597		△597		△597
自己株式の取得							0	0		0
自己株式の処分							3	3		3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)									57	57
当期変動額合計	—	—	11	—	△720	△709	3	△706	57	△648
当 期 末 残 高	4,160	0	477	2,800	△553	2,724	△321	6,563	795	7,358

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税の会計処理は税抜方式によっております。

※付帯事業には、構内販売事業ほかが含まれております。

連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度 平成24年3月31日現在	前連結会計年度 平成23年3月31日現在	科 目	当連結会計年度 平成24年3月31日現在	前連結会計年度 平成23年3月31日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	1,716	1,140	流動負債	2,088	1,113
現金及び預金	1,195	819	支払手形及び買掛金	108	66
売掛金	6	16	短期借入金	1,390	525
たな卸資産	170	155	未払消費税等	9	18
繰延税金資産	95	79	未払法人税等	15	69
その他	248	70	賞与引当金	150	160
			その他	411	273
固定資産	10,798	11,356	固定負債	2,733	2,746
有形固定資産	8,439	9,012	長期借入金	1,139	1,181
建物及び構築物	5,041	5,419	退職給付引当金	1,419	1,335
機械装置及び運搬具	795	747	役員退職慰労引当金	37	86
土地	2,383	2,642	環境対策引当金	19	19
その他	220	203	資産除去債務	25	25
無形固定資産	72	60	負ののれん	92	99
ソフトウェア	40	27	負債合計	4,819	3,859
その他	32	32	純資産の部		
投資その他の資産	2,285	2,283	株主資本	6,558	7,481
投資有価証券	1,544	1,547	資本金	4,160	4,160
長期貸付金	84	113	利益剰余金	2,716	3,643
繰延税金資産	304	274	自己株式	△318	△321
その他	353	373	その他の包括利益累計額	824	767
貸倒引当金	-	△25	その他有価証券評価差額金	824	767
			少数株主持分	311	388
			純資産合計	7,694	8,637
資産合計	12,513	12,497	負債・純資産合計	12,513	12,497

連結株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額 その他有価証券評価差額金	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	4,160	0	3,643	△321	7,481	767	388	8,637
当期首変動額								
剰余金の配当			△112		△112			△112
当期純利益			△814		△814			△814
自己株式の取得				0	0			0
自己株式の処分				3	3			3
株主資本以外の項目の 連結会計年度変動額(純額)						56	△77	△20
当期変動額合計	-	-	△927	3	△923	56	△77	△943
当期末残高	4,160	0	2,716	△318	6,558	824	311	7,694

※連結決算の対象会社は、子会社の立山貴光ターミナル(株)、立山黒部サービス(株)です。

※記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。また、消費税の会計処理は税抜方式によっております。

連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成23年4月1日から 平成24年3月31日まで	平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで
営 業 収 益	5,672	7,056
営 業 費 用	6,324	6,921
運輸業等営業費及び売上原価	3,653	3,967
販売費及び一般管理費	2,670	2,953
営業利益(△は損失)	△ 652	135
営業外収益	72	67
営業外費用	42	66
経常利益(△は損失)	△ 621	137
特別利益	143	—
特別損失	388	98
税金等調整前当期純利益(△は損失)	△ 866	38
法人税、住民税及び事業税	10	112
法人税等調整額	13	△ 61
少数株主損益調整前当期純利益(△は損失)	△ 891	△ 12
少数株主利益(△は損失)	△ 76	△ 16
当期純利益(△は損失)	△ 814	3

グループ会社ホテルの ホームページリニューアルについて



24年4月から当社グループ会社のホテル3館(ホテル立山、弥陀ヶ原ホテル、宇奈月国際ホテル)がホームページをリニューアルいたしました。ホテルの魅力をお客様にわかりやすくお伝えできるよう、全面的に構成を見直しました。

今まで以上にホットな情報をお届けいたしますので、新しいホームページにぜひアクセスしてください。

ホテル立山 <http://h-tateyama.alpen-route.co.jp/>
 弥陀ヶ原ホテル <http://midagahara.alpen-route.co.jp/>
 宇奈月国際ホテル <http://unazukikokusai.alpen-route.co.jp/>

立山ロープウェイ客車更新

～安全で快適な輸送のために～

平成24年4月10日、立山ロープウェイは新しい客車で運行を開始しました。

—入れ換え作業の様子（平成23年11月～平成24年3月）—

【古い客車の運び出し】

① 足場を組みます。



② ホームに客車を仮置きし、ハンガー等を撤去します。



③ 台車に載せトンネルに運び出します。



【新しい客車の取付】

④ カバーのかかった客車を足場に置きます。



⑤ 新しいハンガーを取り付けます。



—新型客車（3代目）の特徴—

- ・ブルー、ブラック、クリーム色を主体とし、オレンジのラインを入れデザインを一新しました。
- ・側面の窓底部を湾曲させ、客車からの視界をワイド化しました。
- ・新型ダンパー採用により、客車の振動と揺れを低減し、乗り心地を向上させました。

立山高原バスも新型車両を導入します

当社は自然環境を考慮し、平成10年7月から低公害バス（ハイブリッドバス）の導入を進めております。

今年度の導入は3台。白の車体に緑、青、黄色のウエーブラインの入ったデザインに一新。最新の排出ガス規制に適合した新型ハイブリッドバスです。



平成24年度トピックス

①世界に誇れる立山の自然の魅力

立山周辺湿原群の弥陀ヶ原・大日平が、湿地を守るための国際条約である「ラムサール条約」に登録されます。(7月予定)

また、立山連峰の雄山東側斜面にある御前沢雪渓と、剣岳近くの三ノ窓、小窓の両雪渓にある三つの氷体が日本雪氷学会によって、国内初の「氷河」とであると認定されました。



弥陀ヶ原高原

②富山の観光案内はおまかせください

昨年好評だった富山観光案内所「とやま旅ナビ」が、スタッフも新たに今年も室堂ターミナルに開設しました。おしゃれなウェアに身を包んだ「山ガール」4名が登山・トレッキングの楽しみ方や、県内の観光案内をいたします。

4月17日のオープンから11月中旬までの予定です。



今シーズンの「山ガール」4名

③訪日客回復の起爆剤に

富山空港と台湾の桃園国際空港を結ぶ中華航空の国際定期便が4月16日、週2便体制で就航しました。昨年は原発事故の風評被害や円高で減少した訪日客ですが、主力台湾の定期便就航を起爆剤に震災前の水準までの回復に期待がかかります。

7月からは週3便に増便となり、今後は「雪の大谷」以外の魅力もアピールし夏、秋の誘客にも積極的に取り組みます。



中華航空台北支店前でのイベント (3月)

④光ケーブルで繋ぐ情報ネットワーク

4月から立山駅～扇沢駅間で、「立山黒部アルペンルート情報連絡システム」の運用を開始しました。各駅に設置したモニター(42インチまたは60インチ)に乗り物発車時刻や運行状況、ライブ映像など各駅で必要な情報を表示します。

このシステムを活用し、安全確保とサービスの向上を目指します。



新設した42インチモニター 3面(黒部平駅)

会社概要／役員

(平成24年3月31日現在)

- 設立年月日 昭和39年12月25日
- 資本金 41億6千万円
- 発行済株式総数 9,291,668株
- 株主数 1,439名
- 役員

代表取締役社長	佐伯 博
専務取締役	佐川 栄
常務取締役	堀内和夫
常務取締役	永崎泰雄
取締役	石井隆一
取締役	永原 功
取締役	高木繁雄
取締役	廣江 譲
取締役	川岸 宏
取締役	森 雅志
取締役	牛越 徹
取締役	佐伯元子
取締役	馬嶋 章
取締役	石谷吉孝
取締役	新森雅夫
常勤監査役	松岡 彰
監査役	柳野隆之
監査役	舟橋實之
監査役	金井昌一

※常務取締役堀内和夫は平成24年3月31日をもって取締役を退任いたしました。
 ※平成24年6月27日開催の第48回定時株主総会をもって取締役馬嶋章が退任し、新たに梶田聡仁が取締役に就任いたしました。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 6月
- 基準日
株主優待券 2月末日
定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
- 公告掲載新聞 北日本新聞
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社
- お問い合わせ・送付先
〒137-8650
東京都江東区塩浜二丁目8番18号
日本証券代行株式会社 代理人部

単元未満株式買取・買増制度のご案内

当社では、単元未満株式（100株未満）をご所有の株主の皆様のご便宜を図るため、単元未満株式の買取および買増制度を行っております。

<単元未満株式の買取り>

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が買い取らせていただきます。

<単元未満株式の買増し>

株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元（100株）となる株式を当社が株主様に売却いたします。

お手続きの詳細につきましては、上記日本証券代行 代理人部までお問い合わせください。

0120-707-843（フリーダイヤル）

旧「立山開発鉄道株式会社」株券をお持ちの株主様

当社では、合併により消滅した立山開発鉄道株式会社の株券と、当社株券との引換えを行っております。まだ引換えのお済みでない株主様は、新株券との引換えをお願い申し上げます。

なお、引換えのお手続きにつきましては、上記日本証券代行 代理人部までお問い合わせください。

株主優待基準

ご所有株式数	優待乗車券・乗車証			ホテル 宿泊割引券
	種 類	通用区間	発行枚数	
100株～150株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂	2枚	2枚
150株～300株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂	3枚	2枚
300株～400株未満	優待乗車券(片道)	立山～室堂	1枚	2枚
	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	2枚	
400株～600株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	4枚	2枚
600株～800株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	6枚	2枚
800株～1,000株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	8枚	2枚
1,000株～2,000株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	10枚	4枚
2,000株～3,000株未満	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	20枚	4枚
	優待乗車券(片道)	立山～黒部湖	30枚	
3,000株以上	優待乗車証(記名式)	立山～黒部湖	1枚	6枚

● 優待有効期間：各年度 営業期間中 ● 各券のご利用方法につきましては、各券面記載事項をご覧ください。

お得な往復きっぷのご紹介

【ファミリーきっぷ】

こども運賃相当を割引

家族みんなで立山へ行こう！

大人1人に対し同行することも(小学生以下)1人分が無料となります。

発売区間 (往復のみ)

立山駅→弥陀ヶ原、室堂、大観峰、黒部平、黒部湖
室堂→弥陀ヶ原、大観峰、黒部平、黒部湖
黒部湖(扇沢)→黒部平、大観峰、室堂
(※扇沢～黒部ダム間は割引がありません)

発売期間 7/21～8/31

発売駅 立山駅、室堂駅、黒部湖駅、扇沢駅

【美女平再発見きっぷ】

立山駅～美女平往復

お手軽にちょっと立ち寄る入門コース

森林浴やバードウォッチング、気軽に森の空気を吸いに行きませんか？

おとな 1,000円 こども 510円

発売期間 6/10～7/10

発売駅 立山駅のみで発売します

立山アルペン倶楽部 会員募集

立山黒部アルペンルートでは、立山が大好きなお客様を対象に「立山アルペン倶楽部」の会員を募集いたします。会員の皆様には数々の特典をご用意いたしました。

特典1

立山駅～黒部湖駅間の運賃を割引いたします。

入会金 2,000円 有効期間3シーズン

来山回数	1回～3回	4回～5回	6回～7回	8回～9回	10回～
割引率	1割引	2割引	3割引	4割引	5割引

特典2 宿泊割引

特典3 レストラン割引

特典4 売店割引 ※一部除外品有

詳しくは、下記まで。

「立山アルペン倶楽部」事務局

☎076-441-3000

営業時間 月～金：8:30～17:30

<http://www.alpen-route.co.jp/alpen-club.html>

マイカーでご旅行の皆様へ「立山・扇沢連絡バス」

日本海側をぐるっと経由して、立山黒部アルペンルート両端の駅を結ぶ連絡バスです！

◆バス発着時刻

立山駅発7:20→扇沢着10:50

扇沢発14:00→立山駅着17:15

◆実施日

8/4(土)、8/18(土)、8/25(土)、

9/29(土)

◆募集定員

各日45名(最少催行人員1名)

連絡バスの旅行代金 2,500円

(おとな・こども共通：ただし座席を使わない乳幼児は無料)

※旅行代金のお支払いは、現金のみとなります。

詳しくは、下記まで。

立山黒部賞光(株)営業推進部

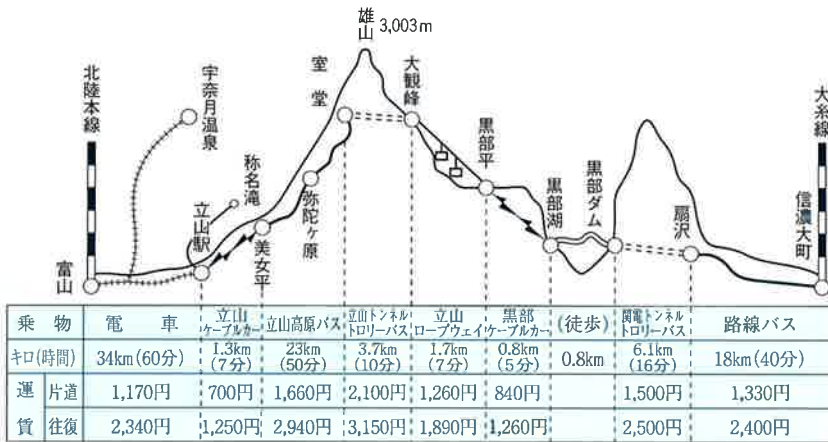
☎076-411-9035

営業時間 月～金：8:30～17:30

http://www.alpen-route.com/_plan/event/000504.html



立山黒部P/レールロードのご案内



営業推進部

〒930-0849 富山県富山市稲荷園町2-34
 営業企画センター・販売予約センター・海外営業センター・宣伝センター
 ☎(076)432-2819 FAX(076)442-3431

東日本営業所

〒102-0081 東京都千代田区四番町4-9 東越伯鷹ビル1階
 ☎(03)3262-7028 FAX(03)3265-5285

東海営業所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル10階
 ☎(052)241-2268 FAX(052)241-2275

●ホームページアドレス

<http://www.alpen-route.com>

西日本営業所

〒550-0004 大阪府大阪市西区鞆本町1-9-15 近畿富山会館4階
 ☎(06)6445-0359 FAX(06)6445-0398

大町営業所

〒398-0002 長野県大町市五日町3226-2
 ☎(0261)22-0198 FAX(0261)23-2967

グループのホテル

宇奈月国際ホテル

〒938-0282 富山県黒部市宇奈月温泉7-26
 ☎(0765)62-1236 FAX(0765)62-1808

ホテル立山

〒930-1414 富山県中新川郡立山町芦崎寺室堂
 ☎(076)463-3345 FAX(076)463-3348

弥陀ヶ原ホテル

〒930-1412 富山県中新川郡立山町芦崎寺室堂
 ☎(076)442-2222 FAX(076)442-2242

(編集・発行) 立山黒部貫光株式会社

〒930-8558 富山県富山市桜町1-1-36
 ☎(076)441-3331(代表) FAX(076)432-9056

(自然環境保護のため、環境にやさしい「水なし印刷」
 「植物性大豆油インキ」を使用しております。)

